

令和3年度 岩手県立花巻農業高等学校経営計画

校長： 小船 光浩

1 現状把握及び将来展望		児童生徒	保護者	地域住民	周辺の中学校
	(1) 学校に対するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 分かる授業と学力の向上 専門知識と技術の定着 充実した進路指導と進路実現 部活動、生徒会、農業クラブ活動の充実 各種の資格取得 	<ul style="list-style-type: none"> 個に応じた学習指導とキャリア教育 進路目標の実現 部活動の活発化 基本的な生活習慣の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 農業・地域産業の担い手育成とふるさと振興 学校開放及び学校からの情報発信 地域連携事業への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 分かる授業 各種の資格取得 部活動、生徒会、農業クラブ活動の充実
	(2) パートナーとの関係	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習活動への取り組み 特別活動への積極的参加 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の充実 P T A活動や学校行事を通じた連携強化 情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動や生徒指導の相互理解と連携 情報交換 教育活動への協力 	<ul style="list-style-type: none"> 情報交換 中高連携
	(3) 学校に影響を与える変化	<ul style="list-style-type: none"> ①グローバル化の進展等に伴う国内外の農業情勢の変化 ②生徒を取り巻く生活環境や経済状況の変化 ③少子化の進行と特別な支援を要する生徒の増加 			
2	校是・教育方針	<p>校是：「 農で学び 農で育ち 農で生きる 」</p> <p>宮澤賢治先生が実践した「愛と慈しみの農業教育」を基本とし、新しい時代を見据えた人間教育・農業教育を実践する活力のある学校</p> <p>①人間教育 宮澤賢治先生が実践した「愛と慈しみの農業教育」を基本とし、豊かな人間性を育み、生命を大切にする。</p> <p>②専門教育 時代の進展に対応しながら農業をはじめ産業社会に貢献する創造性豊かな実践力を育てる。</p> <p>③在り方・生き方教育 個性を尊重する進路目標を設定し、自己実現に向けた在り方・生き方教育を進める。</p>			
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標	
		ア 生徒全体が満足して卒業する学校を目指す		・ 高校生活満足度『80%以上』	
		イ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめ防止を図る		・ 生徒指導上の問題に適切に対応していると答える 生徒の割合 『80%以上』 保護者の割合 『80%以上』	
		ウ 学力・授業力の向上を図る		・ 授業がわかる(学習理解度)と答える生徒の割合 『82%以上』	
		エ 進路指導・キャリア教育の強化に取り組む		・ 就職内定率 10月末 『85%以上』 12月末 『95%以上』	
		オ 部活動等の活性化を図る		・ 県大会ベスト8以内『複数』 ・ 東北大会、インターハイ、国体出場『複数』 ・ 高総文祭入賞『複数』	
		カ 農業クラブ活動の活性化を図る		・ 県連盟、東北連盟、全国大会入賞『複数』	

(2) 取組方針	<p>ア 生徒全員が満足して卒業する学校を目指す (ア)生活5大目標（挨拶の励行・時間の厳守・整理整頓・端正な身だしなみ・正しい言葉づかい）を徹底する。 (イ)個を大切に教育相談と特別な支援を要する生徒への適切な指導の充実を図る。</p>
	<p>イ いじめの早期発見と解消に向けた適切な対処に取り組む (ア)日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見に取り組む。 (イ)教職員の連携を密にし、適切な初期対応をとる。 (ウ)保護者への丁寧な対応と連携を図る。</p>
	<p>ウ 学力・授業力の向上を図る (ア)教員の授業力向上を図る。（分かる授業・わくわくする授業の展開） (イ)家庭学習の定着と基礎学力の向上に向けた取組みを強化する。</p>
	<p>エ 進路指導・キャリア教育の強化に取り組む (ア)3年間を見通した組織的・系統的な進路指導・キャリア教育を強化する。 (イ)全職員による指導を徹底し、全生徒の進路実現を目指す。</p>
	<p>オ 部活動等の活性化を図る (ア)部活動、生徒会、各種委員会、ボランティア活動等の一層の活性化を図る。 (イ)様々な活動をとおして生徒個々の能力の伸長を図るとともに、自主性・自律性を育て自信と誇りを持たせる。</p>
	<p>カ 農業クラブ活動の活性化を図る (ア)プロジェクト学習を推進し、生徒の課題発見・解決能力の育成を図る。 (イ)各種発表・技術競技の指導を強化する。</p>